

自主研究会活動報告

2016年5月21日（土）
ウエカルパ倶楽部
高橋 大輔（25期）

◆CONTENTS◆

- **構成メンバー**
- **定例会**
- **2015年度の研究テーマと内容**
- **今年度の活動計画**

定例会

- 2015年度開催回数 :
6回 (6/10・7/22・8/19・10/14・1/14・3/23)
- 基本方針：興味のあるテーマを自由に語り合う
 - 1) 実施日 毎月第2or第3水曜日
 - 2) 時間 18:30~20:00
 - 3) 場所 エルプラザ
 - 4) 形式 事前調査資料の読み合わせ (持ち回り)
 - 5) テーマ 年度ごとに決定

2015年度の研究テーマと内容

年度研究テーマ：温泉

＜テーマ設定の背景＞

- 1) 前年度のテーマが「エネルギー」で後半に地熱発電が取り上げられ、「温泉」に興味に向いた。
- 2) 2005年の法改正による表示義務追加等、消費生活アドバイザーとして勉強しておきたいテーマだった。



研究内容概略（1）

■資料読み合わせ（6月～8月）

①温泉とは

<定義>

地中から湧出する温水、鉱水及び水蒸気その他のガス（炭化水素を主成分とする天然ガスを除く。）で、以下記載の温度又は物質を有するもの

- 1.温度（温泉源から採取されるとき温度）が25度以上
- 2.溶存物質（ガス性のものを除く）が1kgあたり1000mg含まれる
- 3.以下に掲げる物質（18種類）のうちいずれか一つが含まれる（1kgあたり）
 - ・遊離炭酸（CO₂）（遊離二酸化炭素）＝250mg以上
 - ・炭酸水素ナトリウム＝340mg以上

以下省略

<温泉の効能>

- 1.薬理作用：化学成分による血行促進・保湿等
- 2.物理作用：温熱・水圧・浮力

テキスト：環境省「温泉の保護と利用」他



②北海道の温泉

全国の温泉地は3159か所。そのうち249か所が北海道に存在する（2013年現在）。

・・・全国トップ（2位長野県 3位新潟県 4位青森県）

主要温泉地：登別・定山溪・ニセコ・洞爺湖・湯の川・層雲峡・十勝川・阿寒

※温泉地とは宿泊施設のある場所を指し、一軒宿も1温泉地としてカウントされる。

③札幌の温泉

- ・「定山溪温泉」：1866年（慶応3年～）美泉定山が開湯
- ・「小金湯温泉」：1887年（明治20年～）吉川太左エ門が開湯
- ・「札幌温泉」：1926年（大正15年）～1930年（昭和5年）

現在の界川（さかいがわ）地区に札幌温泉土地株式会社が建設。定山溪から約30kmのコンクリートの管を埋め込みお湯を流した。

・その他の「幻の温泉」

「円山温泉」 「界川温泉」 「藻岩温泉」 「軽川温泉」

④温泉に関する法制

・温泉法：1948年（昭和23年）施行→2005年（平成17年）改正

・温泉権：温泉を排他的に利用する権利

物権法定主義（民法第175条）

厳密には債権であって、信義則による保護によって物権的性質を示す。

土地の所有権とは別個の権利として取引される慣習。



⑤濾過・循環・塩素投入について

★濾過・循環とは：浴槽のお湯を特殊機器によって濾過し、再度浴槽に戻すシステム。レジオネラ菌等の発生リスクがあるため、ほとんどの場合、塩素投入して消毒する。

メリット・・・湧出量の割に浴槽を大型化することができる

★「かけ流し」とは：浴槽のお湯はそのまま溢れさせ、新しく湧出したお湯のみ使用する。

メリット・・・温泉の「鮮度」が保たれる 塩素投入不要

※2005年、温泉法施行規則が一部改正され、温泉では従来の温泉成分に関する表示義務に加えて、加水、加温、循環濾過、入浴剤などの使用の有無など、浴槽内の温泉の状況について表示が義務化された。

⑥ウェカルパ倶楽部メンバーお薦めの温泉

- | | |
|------------|--|
| カルルス温泉（登別） | ：単純温泉（低張性中性高温泉） |
| ポロト温泉（白老） | ：アルカリ性単純温泉 |
| 銀婚湯（八雲） | ：ナトリウム・塩化物・炭酸水素塩泉（中性低張性高温泉） |
| 五色温泉（ニセコ） | ：酸性・含硫黄－マグネシウム・ナトリウム・カルシウム－硫酸塩・塩化物泉（硫化水素型）（酸性低張性高温泉） |
| 山湖荘（糠平） | ：ナトリウム・塩化物・炭酸水素塩泉 |



研究内容概略（2）



■ DVD視聴（10～1月）

札幌国際大学教授の松田忠徳先生の出演したTV
番組「温泉教授・松田忠徳の本物の温泉力～北海道
の源泉ゼミナール～」をDVD視聴。

<松田忠徳氏プロフィール>

虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉出身。東京外国語大学大学院修了。文学博士、医学博士。入浴したことがある温泉の数は4700湯を超えるという。1998年1月から1999年9月にかけて、キャンピングカーで移動しながら全国2500湯を制覇しているという。その間に「列島縦断2500湯」という日本経済新聞の連載も1年半に亘って行なっている。この「列島縦断2500湯」は2000年3月に日本経済新聞社から書籍として刊行された。また、2000年から2002年まで「日本百名湯」を、2000年から2004年まで「新・日本百名湯」の連載をそれぞれ日本経済新聞の土曜日版にて行った。

今年度の活動計画

諸般の事情により、
今年度は活動休止いたします。

m()m